

決算特別委員会

令和3年度各会計決算を認定

令和3年度花巻市一般会計歳入歳出決算など6件の会計決算について決算特別委員会を設置し、9月13日から15日までの3日間、審査を行いました。

審査の結果、議案第71号「令和3年度花巻市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について」および議案第72号「令和3年度花巻市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について」の2件については反対討論があり、採決の結果、賛成多数で、他の4件は全会一致で認定すべきものと決しました。9月21日の本会議で委員会の決定どおり、それぞれ認定しました。

審査の主な質疑・答弁の内容は次のとおりです。

◎新型コロナウイルス感染症対策

Q 本館憲一 委員

新型コロナウイルス感染症関連の決算額と財源内訳は？

A

決算額は54億6893万円。財源内訳は、国県支出金が48億3526万円、地方債が1億1070万円、その他655万円、一般財源が5億1642万円である。

◎イーハトーブ花巻応援寄附金推進事業

Q 本館憲一 委員

ふるさと納税の使途について、市民や寄付者に具体的にアピールする必要があるのでは？

A

原則として土地の所有者に処分をお願いすることになっている。

A 広報はなまきで公表しているが、今後の広報の見せ方等は検討している。

Q 本館憲一 委員

クラウドファンディングの手法で、具体的な事業に対してふるさと納税を募ることは検討されたか？

A

目標額に到達しない場合も想定され、クラウドファンディングについては考えていない。

◎不法投棄防止事業

Q 大原 健 委員

パトロールで発見したごみの処分は誰がするのか？

A

原則として土地の所有者に処分をお願いすることになっている。

◎専門家相談会開設事業

Q 照井省三 委員

市民が抱える法的問題等の解決を支援するため、弁護士等の専門家による相談会を開設しているが、この相談に基づいてどれくらい貸し付けに至っているのか？

A

直接的に貸し付けに結びついていないかどうかのデータはないが、相談会にて消費者救済資金の貸付制度の案内はしている。

◎高齢者介護予防対策事業

Q 若柳良明 委員

市内温泉施設等において、60歳以上の市民4人以上の団体を対象として無料で入浴および休憩を提供していたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策の特別措置

が行われた。その措置は令和4年度も継続するのか？

A

令和3年度は特別措置として個人での利用を可能とし、利用者数は延べ3万3625人となっている。令和4年度も引き続き個人での申請とし、今後についてはコロナの感染状況を見ながら検討していく。



湯のまちホット交流サービスも受け付けている温泉施設

◎就労支援事業

Q 小森田郁也 委員

UIJターン者数について実績値が伸び悩んでいるが、問い合わせ自体が少ないのか、申請要件などが影響しているのか？

A

UIJターンについての問い合わせは令和3年度から相当数あり、花巻にゆかりのある方が実際に来ている。UIJターン奨励金は市独自の制度であり、ある程度要件はあるものの、そのハードルは低いとされている。市としては制度の説明と周知を進め人材確保につなげていきたい。

◎勤労者福祉向上事業

Q 櫻井 肇 委員

中小企業退職金共済事業について、加入者数

令和3年度大幅に伸びているが、この制度の市の関わりは？

A

中小企業退職金共済事業は、厚生労働省所管の独立行政法人勤労者退職金共済機構が退職金を創設できない中小企業を補助するために実施している事業。花巻市では従業員1人の掛け金に対し3年間を限度に、1カ月当たり3000円を補助して交付している。

◎職業人材育成事業

Q 及川恒雄 委員

学生の就職意識に関するニーズの発掘について主なものは？

A

1校の1年生179人で6社の企業から参加していた。企業の紹介、会社の概要、業務内容を紹介した。どのような企業が望ましいのか、どんな企業に就きたいのか、どのような業種が良いのかなどのニーズをアンケート調査し、企業を紹介するサイトを構築、活用しながら生徒のニーズをくんだものを作成したと考えている。

◎有害鳥獣被害対策事業

Q 佐々木精市 委員

有害鳥獣対策として電気柵設置は補助対象と



市内産直施設

◎成長分野参入促進事業

Q 鹿討康弘 委員

市内企業へのプロジェクトマネージャー派遣が令和2年度と令和3年度共に実績がゼロとなっている要因は？

A

成長分野に取り組んだ事業が4件あったが、花巻市起業化支援センターのコーディネーターが高いスキルを有しており、専門家派遣にまで及ばなかった。

